



東京大学体験活動プログラム

当センターは、「東京大学体験活動プログラム」における学生の受け入れ団体として、特別功労賞を授与頂きました。（2024年3月8日東京大学鉄門記念講堂にて）。



東京大学藤井総長より盾を授与

このプログラムは、様々な体験を通じて多様な人々と出会い、未知なるものを知ろうとすることで、知の探究を進める力を身に付けることを目的に2012年度から開始されました。フィールドは国内外問わず、内容はボランティアなどの社会貢献活動、国際交流、農林水産業や地域体験、学内研究室体験など、多岐にわたり、現在約100団体が受け入れ団体として登録しています。



授賞式でのスピーチ

その中で、「療育を知ろう」という内容で、第1回から毎年1名～2名の学生さんが当センターを希望してくれています。学生さんからは、2週間のプログラムを終えて、「自分をみつめ、進路について考えるようになった」「重症心身障害者のケアに将来も関わっていきたい」「小児科医になる」「医療と福祉の繋がりを研究する」といった進路や研究の方向性を決めるきっかけになったといった感想を頂いています。

こうした、見学・研修・実習等で当センターを訪れてくださった方々にとって、人生の歩みの中で「きっかけや起点」になれるように「輪を和でつなぐ」理念のもとで、これからも療育の実践を継続していきます。

【副所長 鮎澤 浩一】



しまはち家族野菜プロジェクト

昨年度から始まったしまはち家族野菜プロジェクトですが、今年度無事じゃがいもの収穫までこぎ付けため、ご報告させていただきます。

相澤農園のご協力のもと昨年度の1月に植え付けを行い、4月には草むしり、7月に収穫、そして収穫祭を行うことができました。慣れない作業に子どもたちはもちろん、大人も見様見真似ななか、それでも参加者の生き生きとした表情が印象的でした。

はじめて見るじゃがいもの種芋に興味深々な子どもいれば、飛び出たミミズや幼虫に目を輝かせる子、トカゲを見つけて探し回る大人もあり、日頃見ることができない姿がそこにはありました。

収穫祭では台町で子ども食堂をしているほいっぴ食堂にお邪魔し、子どもも大人も入り乱れてカレーを作りました。おいしいおいしいと言いながらお腹いっぱいになるまで色とりどりのじゃがいもが入ったカレーを堪能することができました。

次回は相澤農園のご厚意で早速サツマイモの苗を植えていただいたため、いまから収穫が待ち遠しいです。

【通所科 児玉 裕】



台町四丁目祭り



7月20日（土）に台町四丁目夏祭りが行われました。今年もしまはちは各科から多くの方々に参加していただき、日差しが強い中、町会の皆さんと一緒に午前中は会場設置を、午後夕方からは屋台に参加しました。数年ぶりに開催された子供神輿には多くの子供たちが参加し、活気あふれる子供たちの声が町に響いていました。その力強い活気に煽られるようお祭り会場全体に熱が入っていました。屋台ではポップコーンと綿あめを販売し、多くのお客さんに楽しんでいただく事ができ、今年の売り上げは昨年度を越す大盛況となりました。その売り上げは全額台町四丁目町会に寄付させていただくこととなりました。しまはちの職員やそのご家族の皆様にもお手伝いいただいた今年の夏祭りもたくさんの笑顔と活気で大いに盛り上がりました。

【管理科 恩田 ひかり】





通 所

新入所歓迎会

今年度より新たに2名の利用者様が通所されることとなり、新入所歓迎会を開催しました。

お二人とも初めての通所の景色を見て少し緊張された様子でしたが、先輩利用者様の挨拶を聞いて徐々にリラックスされていました。

その後、先輩利用者様が今日の為に練習してきた合唱やビデオメッセージが続きいよいよお二人もはじめての活動に参加されます。

はじめての活動である「大筆書道」はお二人もそのサイズに驚いた様子でしたが息を合わせて立派な“つなぐ”の文字が完成しました。お二人だけでなくご家族からも穏やかな雰囲気が伝わる温かい式典となりました。

【通所科 小山 峻介】



多摩地域施設交流会

オンラインでの開催が続いていた施設交流会ですが、今年は5年ぶりの対面開催となりました。多摩地域の12施設が体育館に集まり、名刺でじゃんけんぽんなどのレクリエーションを行いました。

しまはちからは4名の利用者様が参加しました。広い体育館に到着するとワクワクとした笑顔がみられ、他施設利用者様との名刺交換では少し緊張された表情となり、対面開催ならではの様子を見ることができました。交換した手作り名刺は大切に持ち帰り、今回は参加されなかった利用者様とも思い出を共有しました。

今後もこのような交流会への参加を通し、利用者様、職員共に地域の輪が広がっていくと良いなと感じました。

【通所科 板橋 萌】



ナイトケア

恒例となった八王子花火大会に合わせたナイトケアを7月29日に開催しました。今年は「縁日」をテーマに通所内を飾り付け、普段とは違う雰囲気の中で行いました。また、今年は東京家政大学吹奏楽部の皆さんが演奏に駆けつけて下さり、ディズニーの名曲や誰もが知っているなじみのあるポップスを披露していただきました。利用者の皆様も曲に合わせて声を出して喜ばれており、普段聞くことのできない生の楽器の演奏にキラキラとした笑顔で楽しまれていました。

そして、ナイトケアの醍醐味である屋上での八王子花火大会鑑賞では、とても暑い中でしたが、途中ポツリポツリと空からのプレゼントの雨粒が落ちてくることもあり、ヒヤヒヤしました。しかし、大きく打ち上がる花火を、参加された皆さんと一緒に見て、一段ときれいに感じられたことと思います。夏らしさを感じていただける素敵な時間を皆さんで過ごすことができました。

【通所科 玉田 りえか】





医師紹介



大学病院・市民病院等で、40年間小児科医として診療を続けてきました。この度、縁あってしまはちの小児神経外来を手伝わせていただくことになりました。子どもと保護者の方々の笑顔を見られるように頑張ります。

【小児神経科 小野 次朗】

ほっとひといき

夏休みに入り、わが家の小学生はスポーツチームの活動として、地域での朝のラジオ体操が始まりました。私が小学生の頃は、毎朝子供会でラジオ体操をして最終日にはお菓子やアイスをもらった記憶がありますが、それがまだ続いていることに驚きとともに嬉しさを感じました。

PTでも体を動かす1つのリハビリとしてラジオ体操を行うことがあります。立って行ったり椅子に座って行ったり、動きが早くて難しい場合はアレンジして行ったりと、1人1人に合わせて行っています。ラジオ体操は真剣に行うとけっこう良い運動です。現代は携帯やパソコン、ゲーム等を操作する機会が多く、肩回りを大きく動かす機会が減ってきているので、腕や肩、体幹を大きく動かす動きがおすすめです。



これから少しずつ気温も落ち着いてくるかと思えますので、体をリフレッシュさせたい時にはラジオ体操なんていかがでしょうか。

【リハビリテーション科 理学療法士 駒崎 舞】

おしらせ

information

「輪を和でつなく」
著者：小沢浩
発行所：クリエイツかもがわ
価格：2000円（税別）
発売中です



島田療育センターはちおうじ 小児診療



こどもクリニック

えみんぐ

- ・各種 予防接種を行っています。予約制となりますので、詳しくはお電話でお問い合わせください。
- ・発熱など風邪症状のある方は、ご来院前にお電話でお問い合わせください。感染症対策のため、ご協力よろしく願っています。

診療内容

こどもがかかりやすい病気（発熱や嘔吐・下痢など）の診察・治療を行っています。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	●	●	●	●	●		
13:45~14:45	予	予	予	乳	予		
15:00~17:00	●	●	●	●	●		

予... 予防接種 乳... 乳児健診
*土日の他、祝日も休診となります



TEL. 042-634-9008

